2024年度 第56期 事業報告

(2024年1月1日 ~ 2024年12月31日)

1. 会員の状況

会員数 2024 年 12 月 31 日現在 第 1 種正会員 32 名 第 2 種正会員 59 社 合 計 91

2. 役員等の状況

①役員の異動

袴田豊氏が理事に就任、遠藤昭人氏が理事を辞任し、田中隆司氏が理事に就任

②役員数

会長1名 副会長兼専務理事1名 常務理事1名 理事9名 監事2名 計14名

3. 会 議

①総会

第 56 期定時総会 ホテルメトロポリタン盛岡 本館 2024.02.26

第1号議案 第55 期事業年度事業報告及び決算について

第2号議案 第56期役員報酬限度額について

第3号議案 役員の改選について

報告事項 1) 第56 期事業年度事業計画及び予算について

2) 公益目的支出計画実施報告書の提出について

臨時総会 一般社団法人計量計測技術センター 会議室 2024.05.17

第1号議案 理事の選任について

② 理事会

第 1 回 ホテルメトロポリタン盛岡 本館 2024.02.07

第1号議案 第55期事業年度事業報告及び決算について

第2号議案 公益目的支出計画実施報告書について

第3号議案 第56期事業年度事業計画(案)及び予算(案)について

第4号議案 役員報酬限度額について

第5号議案 借入金限度額について

第6号議案 新規入会会員の承認について

第7号議案 役員の選任について

第8号議案 定時総会の開催について

報告事項 業務執行状況の報告

臨時理事会(みなし決議)

2024.05.17

理事の選任を議案とする臨時総会の開催について、理事会の決議があったものとみなされた。

第 2 回 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウィング 2024.07.18

報告事項 1) 第56期事業年度(上半期)における事業の経過について

2) 業務執行状況の報告

その他 1) 東北・北海道計量大会について

③監査会

一般社団法人計量計測技術センター 事務所

2024.01.31

2023 年事業年度における、理事の職務の執行、事業報告及び関係書類に関する監査並 びに財務諸表及び計算関係書類に関する監査を実施

4. 事

(1) 計量及び計測管理に関する知識の普及及び情報提供に関する事業

①計量記念日事業

1) 「けいりょう」強調月間標語募集

2024.07.01

2024 年度計量記念日事業の一環として、11 月 1 日の「計量記念日」並びに 11 月の 計量強調月間にあわせ、計量の大切さを広く認識・理解してもらうことを目的とし た普及啓発用の標語を県民から募集した。その結果236作品の応募があり、審査会 において岩手県知事賞を含む7点の入選作品と4点の佳作を選出して表彰した。ま た、入選作品を 7 種類の標語ステッカーとして作成し、県内約 200 事業所に配布し

2) 「計量記念日ポスター」、「計量のひろば」の配布 2024.10.11 計量記念日全国統一ポスター及び冊子「計量のひろば」(日本計量振興協会作成) を県内約200事業所に配布し、計量に関する知識の普及啓発を推進した。

3) 新聞広告の掲載

2024.11.01

11月1日の計量記念日に合わせて岩手日報に広告を掲載し、広く県民に計量の意 義、計量制度の重要性を普及啓発した。

- ②講習会、セミナーの開催
 - 1) 主任計量者講習の開催(計量証明事業) (受講者 27 名) 2024.03.06 一般計量証明事業を行う事業所における主任計量者の確保と養成を図るための講習 会を開催した。
 - 2) 計測管理セミナーの開催

(受講者 22 名) 2024.09.20

「測定の不確かさ」について、その評価方法を実習を含めて研修し、「不確かさ」 を計測管理や合否判定に活用し、各事業所の品質管理に資することを目的としたセ ミナーを開催した。(第26回計測管理セミナー)

講習内容「易しい不確かさ入門」

共催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

会場 岩手県工業技術センター

3) 中小企業向け測定基礎研修会の開催 (第 14 回) (受講者 29 名) 2024.12.05 地域の中小企業における技術者を対象に、測定の基礎知識や測定方法、実習を含め て管理技術を習得するための研修会を開催した。

後援 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

会場 岩手県工業技術センター

③会報「けいりょういわて」の発行

年2回 会員、計量行政機関、関係事業所に300部配布した。

No. 72 号 2024.08.01

No. 73 号 2024.12.01

④ホームページによる情報提供の充実

計量に関する正しい知識及び技術等の普及並びに当センターの事業内容の広報を目的 とした情報提供に努めた。 URL https://www.kryo.jp/

(2) 計量法に基づく特定計量器の定期検査、検定等に関する事業

①行政機関からの受託業務に係る適正な業務システムの運用と円滑な業務を実施

1) 特定計量器の検定等受託業務

2024年1月1日~2024年12月31日

業務内容	個 数	対前年比(%)	2023	2022	2021
質量計検定	973	120.6	807	1,069	926
燃料油メーター等検定	925	67.3	1,315	990	1,178
血圧計検定	11	100.0	11	11	15
タクシーメーター装置検査	1,941	98.0	1,980	2,061	2,133
基準器検査	211	71.5	295	241	202
合 計	4,061	90.9	4,468	4,372	4,454

※対前年比: 2023 年実績(1/1~12/31)との個数の比

2) 指定定期検査機関として特定計量器の定期検査を実施

岩手県対象地域 県南地区 (延べ50日)

盛岡市対象地域 南部地区(延べ18日)

地 域	事業所数	個 数	対 2022 年比(%)
岩手県 県南地区	1,159	2,345	92.9 (94.6)
盛岡市 南部地区	378	756	96.2 (98.7)
合 計	1,537	3,101	93.7 (94.7)

※対 2022 年比:対象地域が同じ 2022 年実績との事業所数の比(個数の比)

②特定計量器の定期検査に係る事前調査を実施

盛岡市南部地区を対象に調査を実施(調査対象件数約632件)

(3) 計量関連機関との連繋及び交流に関する事業

①東北六県・北海道計量協会、事務局長会議へ出席(札幌市) 2024.02.28 ②一般社団法人日本計量振興協会運営委員会へ出席 2024.04.26

③一般社団法人日本計量振興協会定時総会へ出席 2024.05.29

④東北・北海道計量大会への参加(青森市)

東北六県北海道計量協会長・同計量士会長合同会議

東北・北海道計量大会及び第71次東北六県北海道計量協会連合会総会 2024.10.03

⑤第44回東北・北海道計量士協議会へ出席(札幌市) 2024.11.22

(4) 計量士による代検査及び管理検査に関する事業

- ①定期検査対象地域における計量士による代検査業務の実施
- ②県内の郵便局等を対象に日本郵政グループ計量管理受託業務の実施 一般社団法人日本計量振興協会との協定による検査管理指導業務を実施
- ③計量自主管理事業所に対する管理検査業務の実施 計量器検査及び量目検査、管理指導業務の実施
- ④土木関係事業所における計量計測機器類の検査・校正業務の実施 配合用計量器の検査及び試験用計量計測機器類の検査・校正業務の実施
- ⑤適正計量管理事業所における計量管理業務の実施 計量器検査及び量目検査、管理指導業務の実施

2024年1月1日~2024年12月31日

業務	内 容	事業所数	個 数	対前年比(%)
計量士による	岩手県・盛岡市	812	3,832	99.6 (102.9)
代 検 査	県 外	330	1,039	97.1 (104.7)
日本郵政関係		218	488	99.1 (103.4)
計量管理検査		607	5,971	107.1 (112.4)
土木関係事業所における検査・校正		156	407	95.1 (96.2)
適正計量管理事業所の管理検査		11	408	100.0 (94.7)
合 計		2,134	12,145	_

※対前年比:代検査、日本郵政は 2022 年実績(1/1 ~ 12/31))との事業所数の比(個数の比)

他は 2023 年実績(1/1 ~ 12/31)との事業所数の比(個数の比)

⑥岩手県生コンクリート工業組合との共催による第48回 JIS・品質管理講習会を会場での受講とオンラインによる受講のハイブリット形式で開催した。(盛岡市)

2024.06.26

⑦令和5年度農協関係における計量管理に係る協議会は、資料の配付のみとした。

(5) 計量機器及び計測機器の試験及び校正に関する事業

- ① JCSS 登録事業者(国際 MRA 対応認定事業者)として適正な校正事業を実施 1)認定機関による認定維持審査はなかった。
 - 2)技能試験
 - ○質量区分(分銅)の JCSS 技能試験に参加し、結果は合格であった。2024.06.10~31
 - ○質量区分(はかり)の JCSS 技能試験に参加し、結果は合格であった。2024.06.20
 - ○長さ区分 (ブロックゲージ) の JCSS 技能試験への参加は 2025 年 3 月を予定して いる。
 - ○力区分(一軸試験機)の JCSS 技能試験への参加はなかった。(2026 年を予定している。)
- ②登録範囲以外の計量計測機器類の試験及び校正業務の実施

計量のトレーサビリティを確保した常用参照標準及び校正用機器類を整備し、 適正 なマネジメントシステムにより校正業務を実施した。

※校正実績

2024年1月1日~2024年12月31日

分類	種類	事業所数	新規	個 数	対前年比(%
	ブロックゲージ	71	10	1,197	88.8 (63.3)
JCSS 校正	一軸試験機	99	2	99	97.1 (97.1)
	分銅	161	15	1,459	91.0 (98.0)
	はかり	47	2	168	111.9 (111.3)
	小 計	378	29	2,923	94.3 (81.0)
	温度計、圧力計、				
一般校正	長さ計、力計、	448	73	1,614	104.9 (106.4)
	トルク機器等				
	合 計	826	102	4,537	99.8 (88.5)

※事業所数:延べ事業所数 ※対前年比: 2023 年実績 (1/1 ~ 12/31) との事業所数の比(個数の比)

③関連する計量標準の協議会、連絡会議への参画

1) 質量トレーサビリティ研究会に参加した。

2024.01.19, 03.22

2) 計量トレーサビリティ講演会にオンラインで参加した。

2024.02.14

3) 認定事業者向け説明会にオンラインで参加した。

2024.03.11, 11.25

(6) 計量法に基づく指定検定機関に関する事業

指定検定機関について、各計量団体と情報交換を行った。

(7) その他当センターの目的を達成するために必要な事業

①地方計量行政機関の業務に対する協力

- 1) 岩手県計量センター (岩手県商工労働観光部商工企画室) 主催の 2024 年度市町村 計量事務担当者会議へ出席した。 2024.05.10
- ②計量士の養成及び資質向上と職員の計測技術の向上
 - 1) JCSS 登録区分毎に技能評価試験を実施し、校正の技術的能力の確認を行った。

ブロックゲージ	$2024.02.05 \sim 02.16$
一軸試験機	$2024.11.20 \sim 11.29$
分銅	$2024.02.08 \sim 02.26$
はかり	$2024.09.02 \sim 09.30$

- 2) 定期的に社内研修を開催し、品質目標を展開するとともに外部研修等により習得した知識や情報の共有化を図った。2024.01.29、08.09、10.11、12.20
- 3) 当センター職員の小野寺翔夢技師が一般計量士として登録された。 2024.11.28
- 4) 自動捕捉式はかりの使用の制限の開始に関する説明会にオンラインで参加した。

2024.12.17

- ③一般社団法人日本計量振興協会が行う事業への協力
 - 1) 全国計量士大会に当センターの計量士全員(12 名)が参加した。(仙台市)

2023.03.17

- 2) 自動はかりの計量管理推進委員会委員の委嘱を受けるとともに、委員会に出席した。 2024.03.21
- 3) 中小企業向け測定基礎研修運営委員会に出席した。

2024.04.26

4) 計量士部会委員の委嘱を受けるとともに、部会に出席した。

2024.08.01, 09.17, 10.29